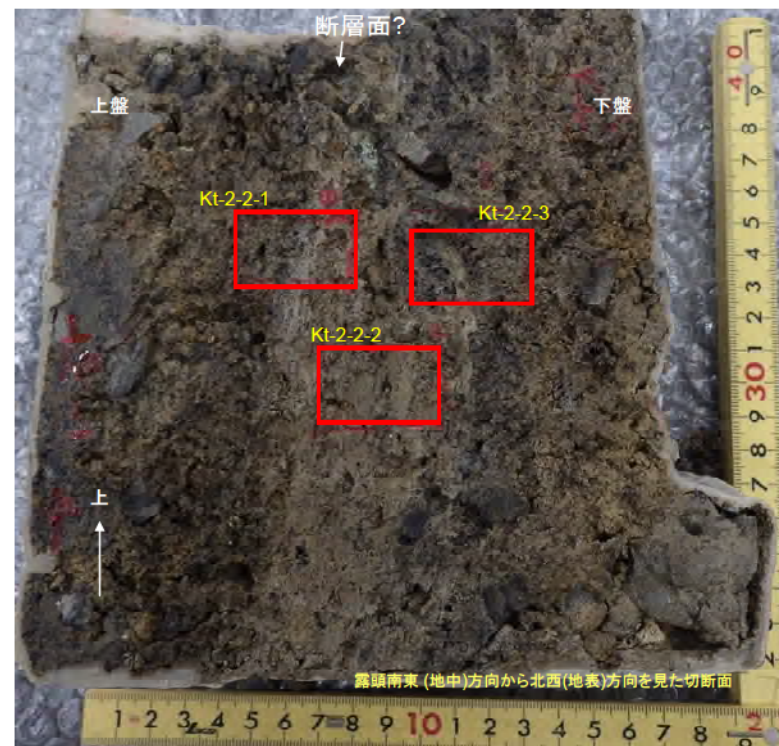
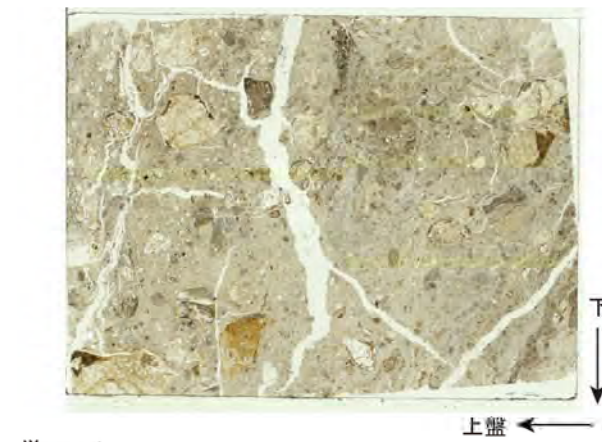


ブロック試料 Kt-2-2 薄片作成位置

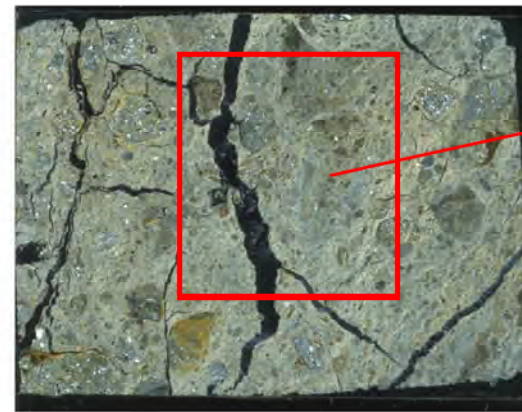


条線に平行方向(60° S)にブロックを切断し、断層面に直交方向で薄片を3箇所作成。

Kt-2-2-3

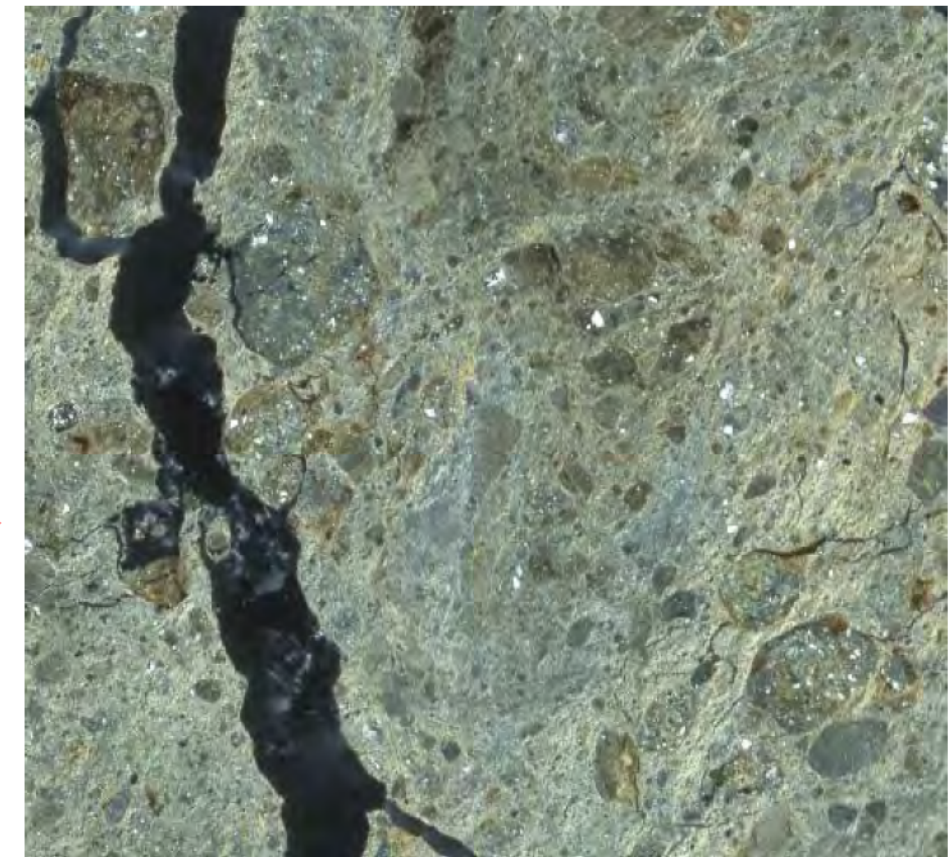


単ニコル



直交ニコル

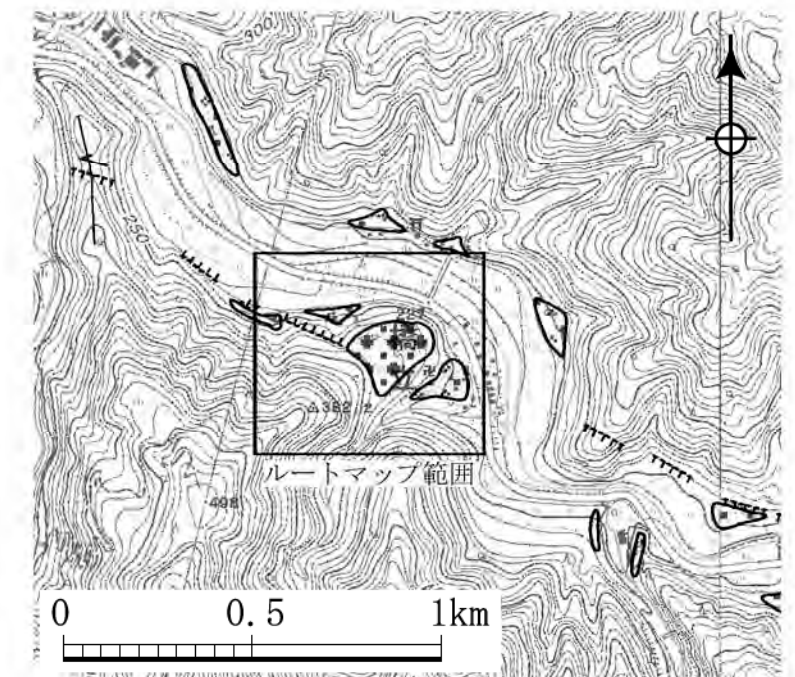
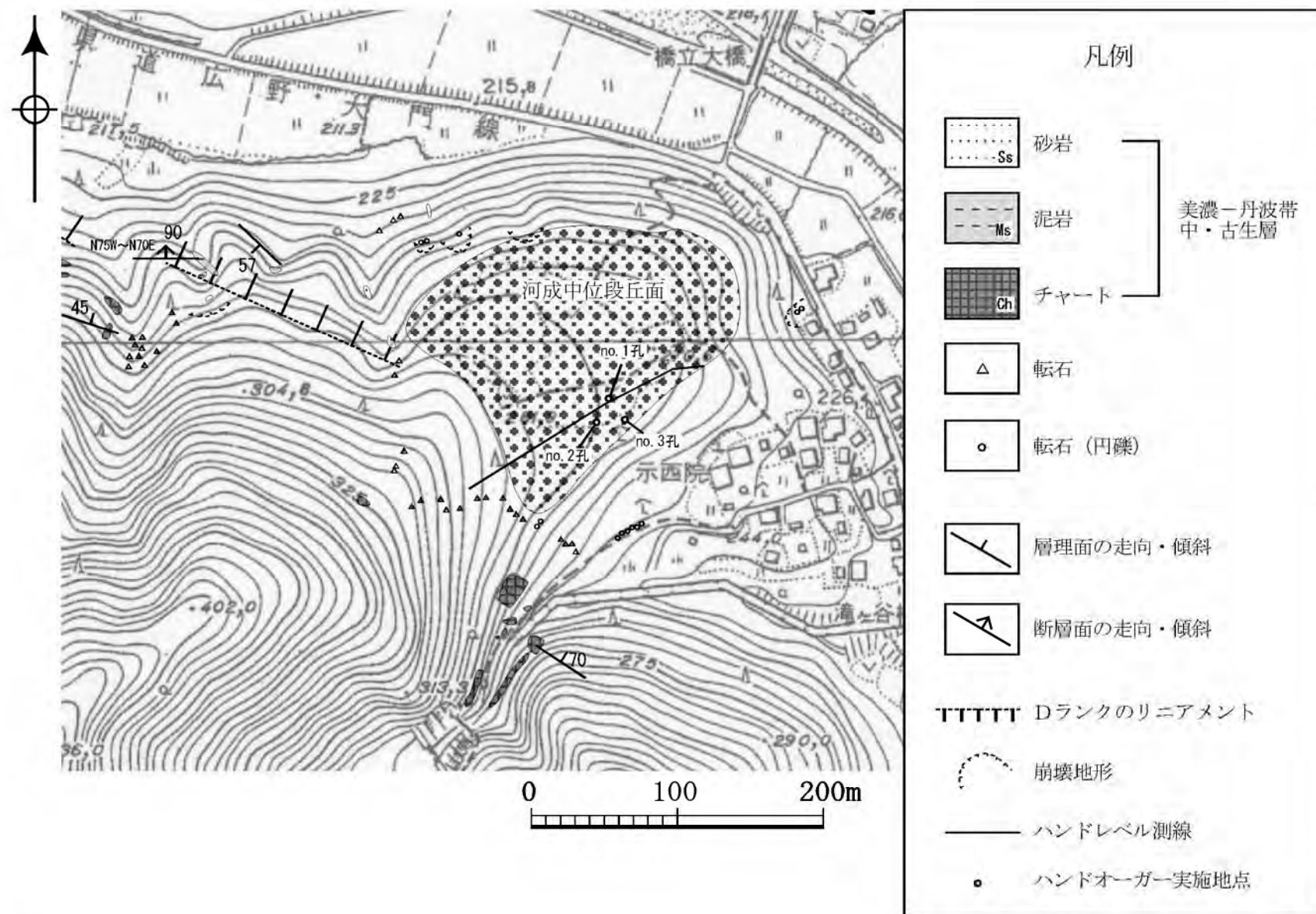
直交ニコル



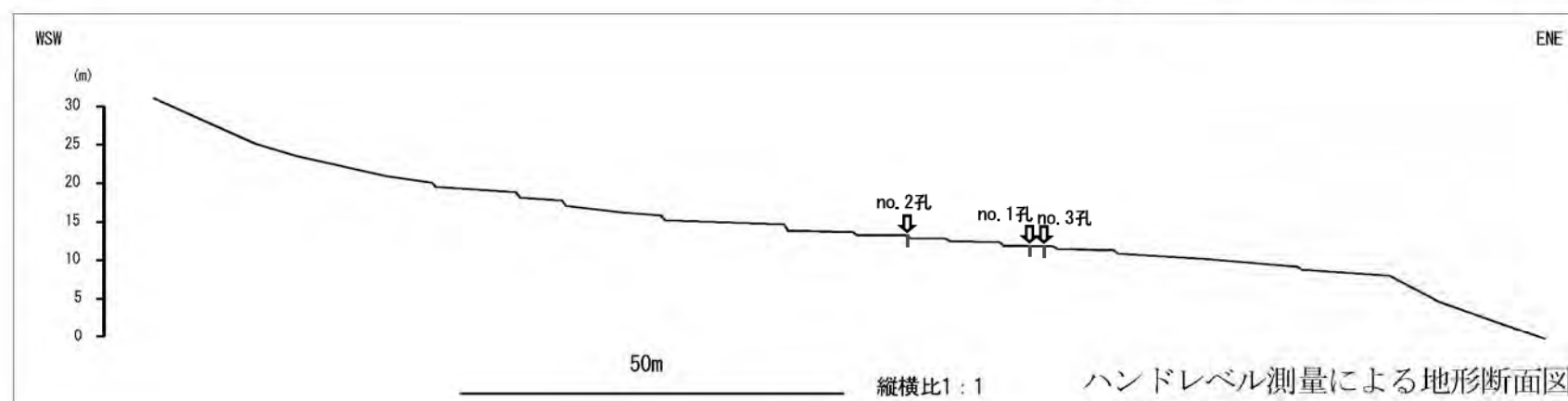
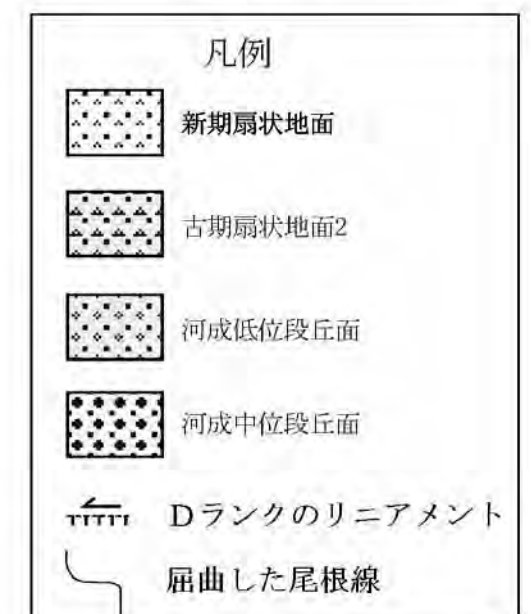
0.2mm

薄片観察結果

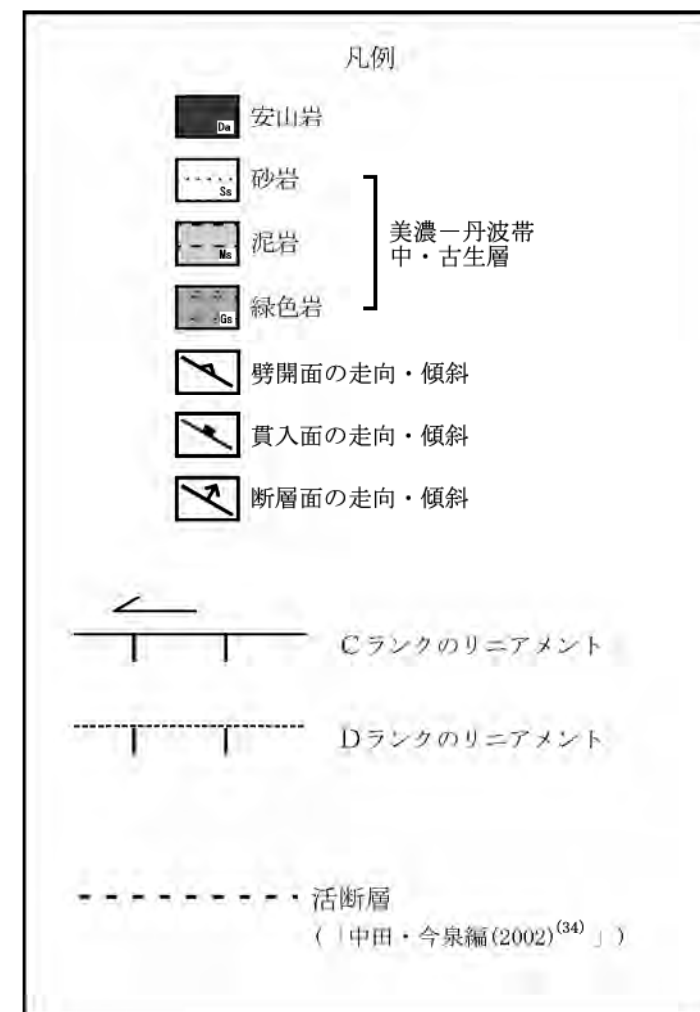
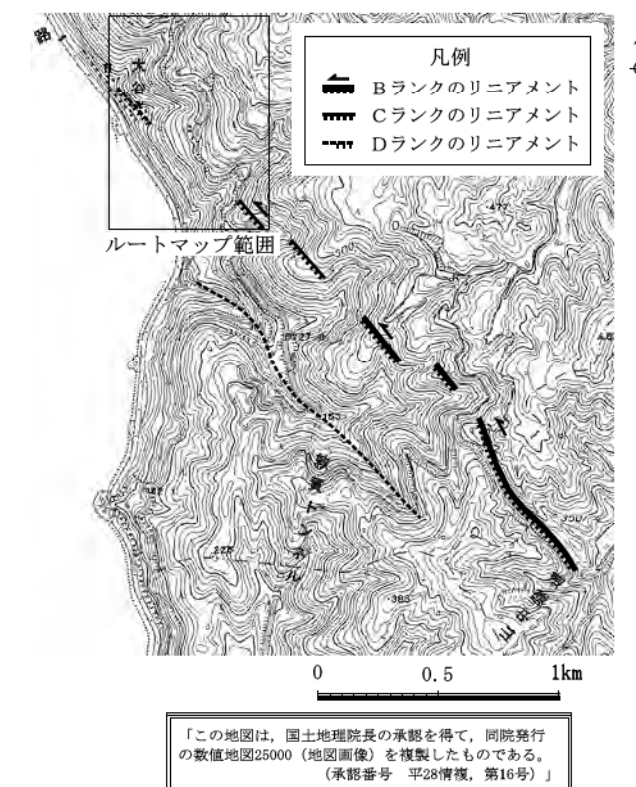
・Y面(せん断面)は認められない。



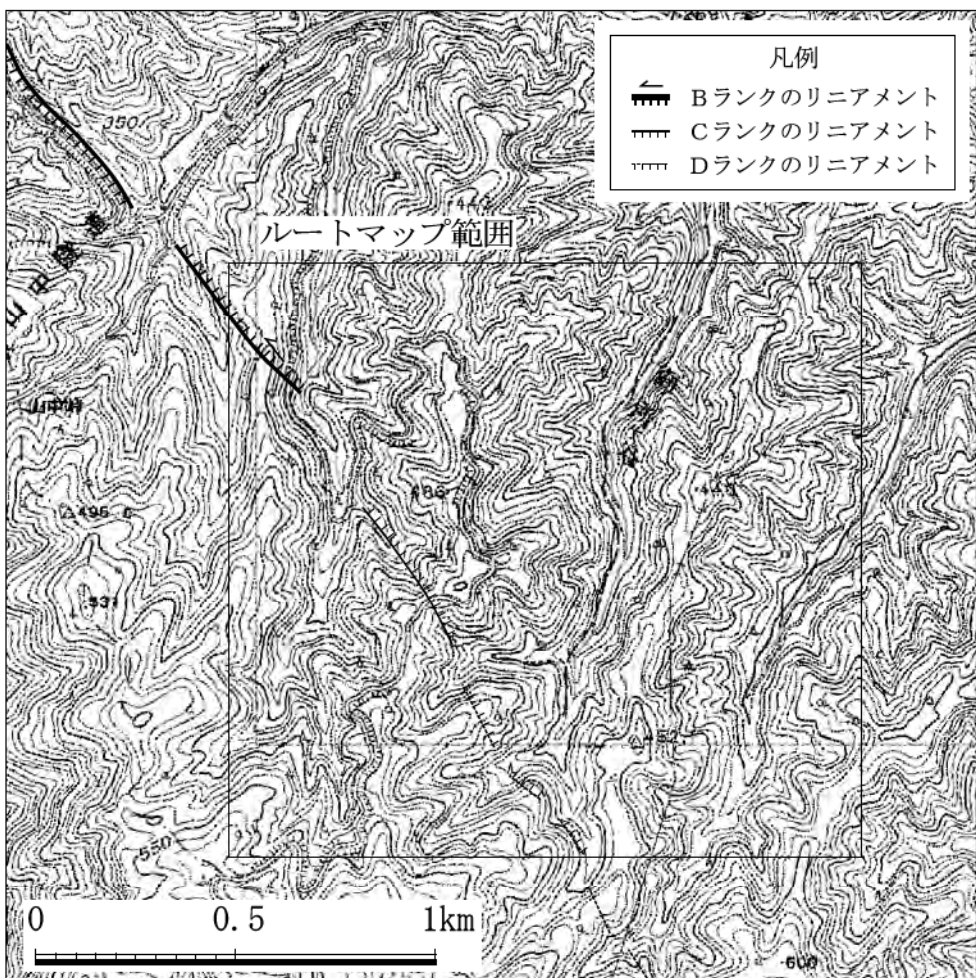
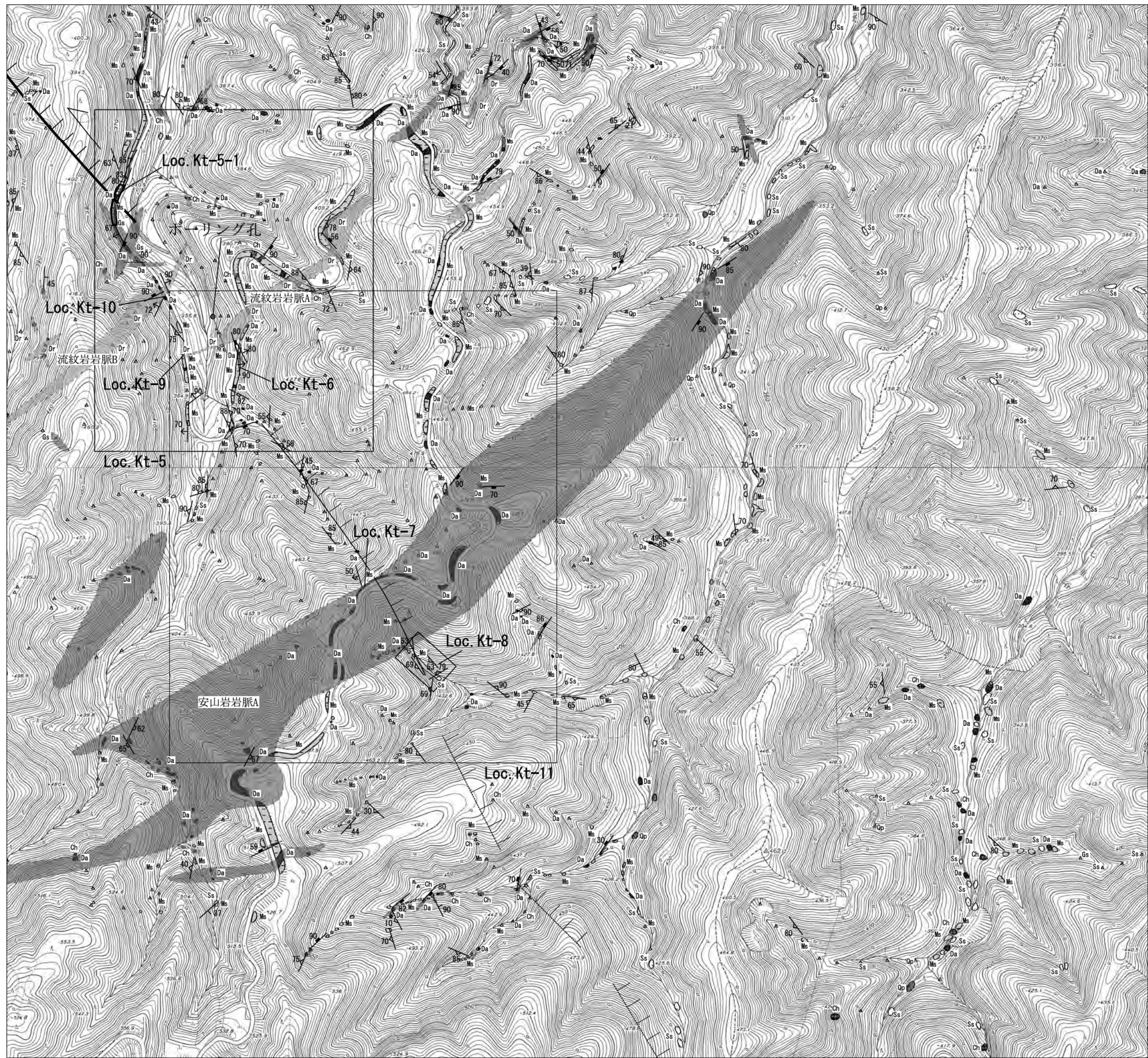
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複，第16号）」



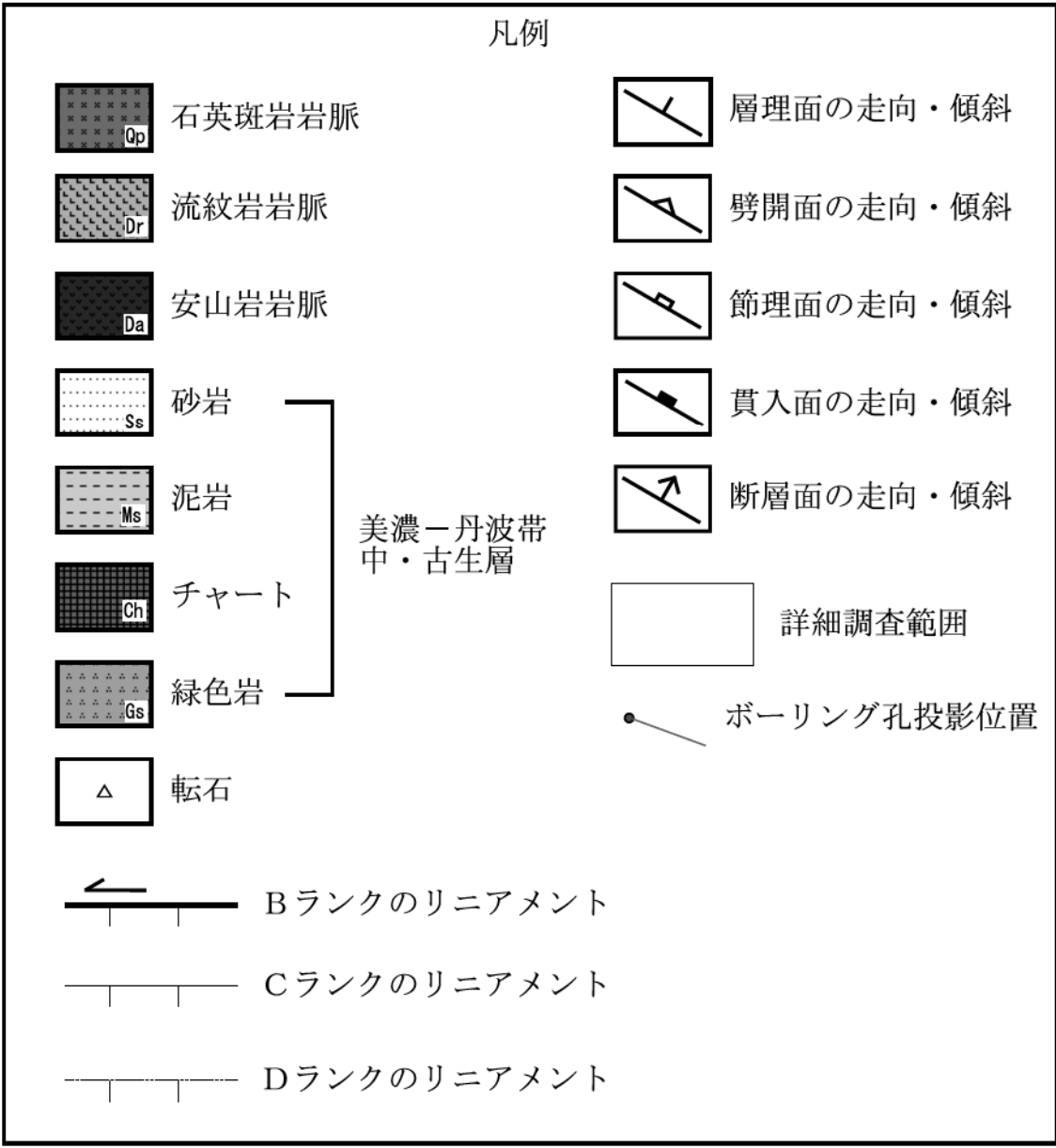
第1.3.34図 日野川断層南東端付近 橋立西方のルートマップ (Loc. Ht-3)



第1. 3. 35図 山中断層北方延長部 大谷付近の拡大ルートマップ (Loc. Kt-3)
6-1-318



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平28情復，第16号）」



第1.3.36図 山中断層 山中峠東方付近のルートマップ (Loc. Kt-4)

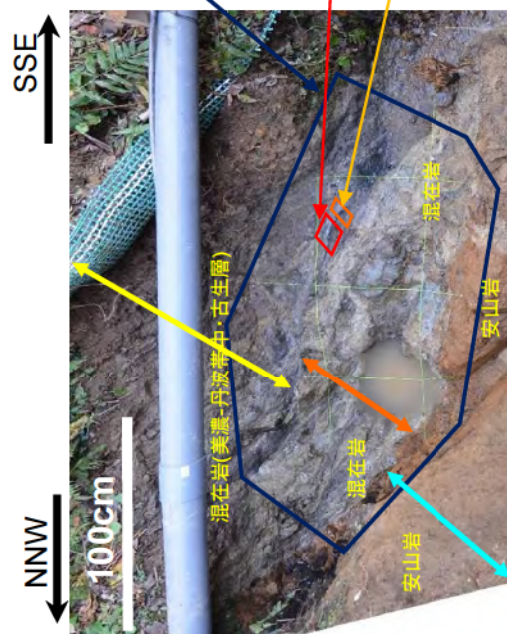
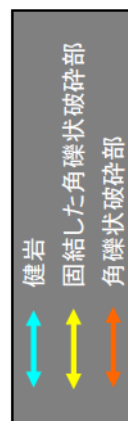


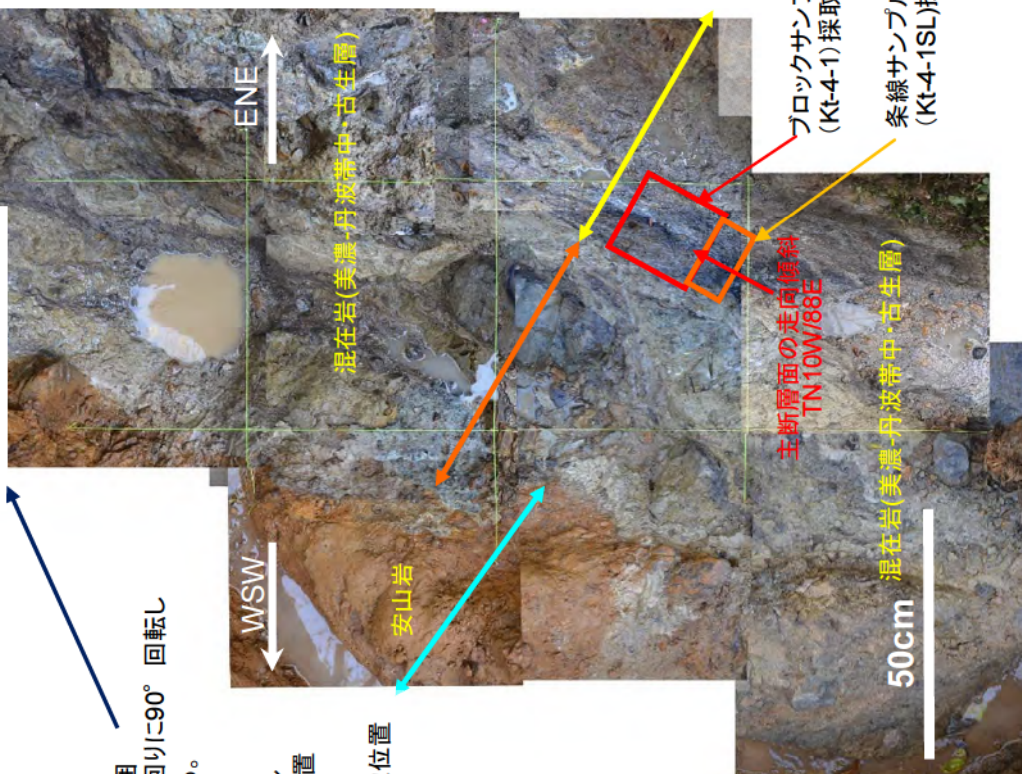
写真1 河床部露頭状況



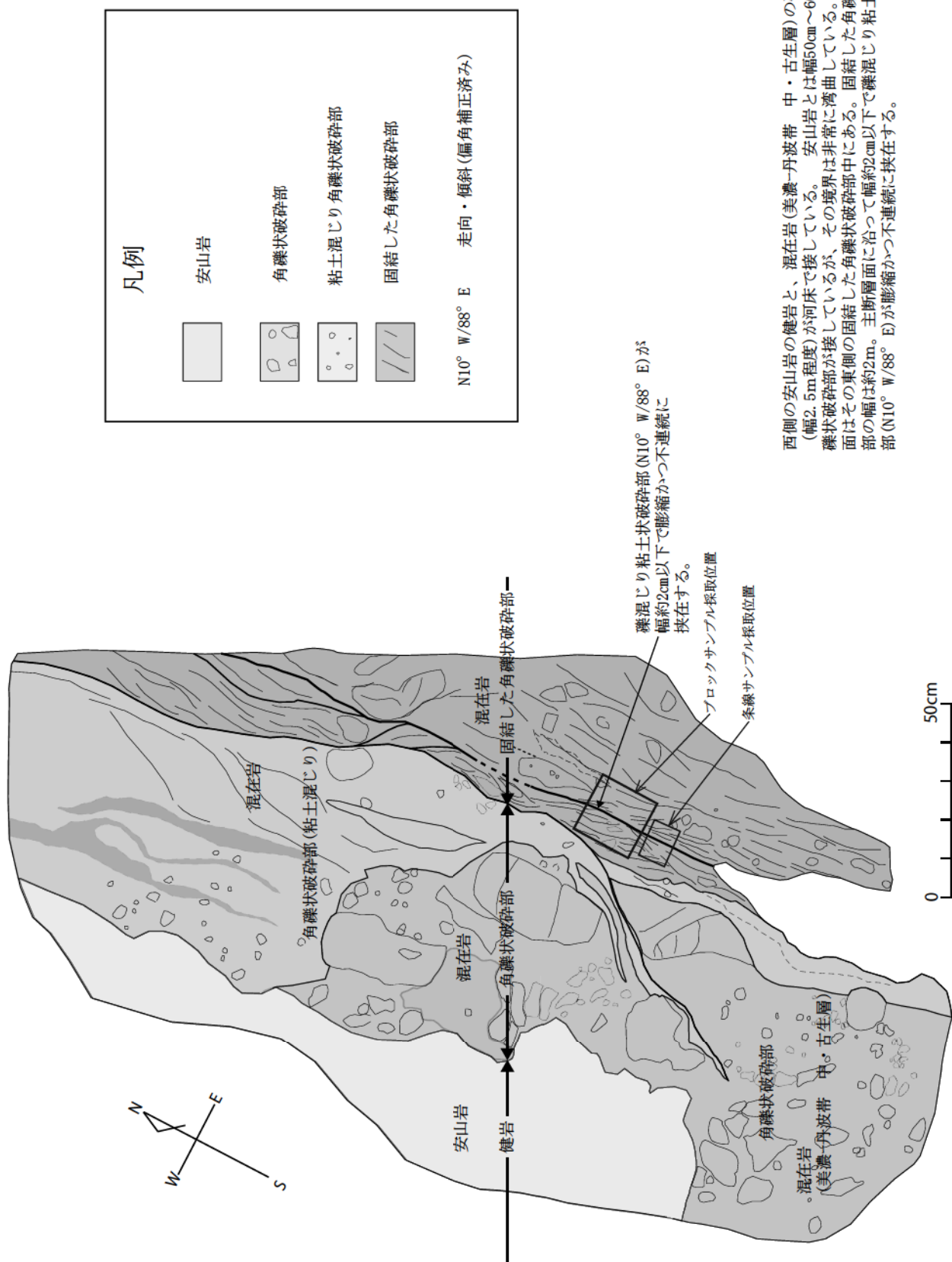
西側の安山岩の健岩と、混在岩(美濃・丹波帯 中・古生層)の破砕部(幅2.5m程度)が、河床で接している。安山岩とは幅50cm~60cmの角礫状破砕部が接しているが、その境界は非常に湾曲している。主断層面はその東側の固結した角礫状破砕部中にある。固結した角礫状破砕部の幅は約2m。主断層面に沿って幅約2cm以下で礫混じりの粘土状破砕部(TN10° W/88° E)が膨縮かつ不連続に挟在する。

写真2撮影範囲
写真2は時計回りに90° 回転して表示している。

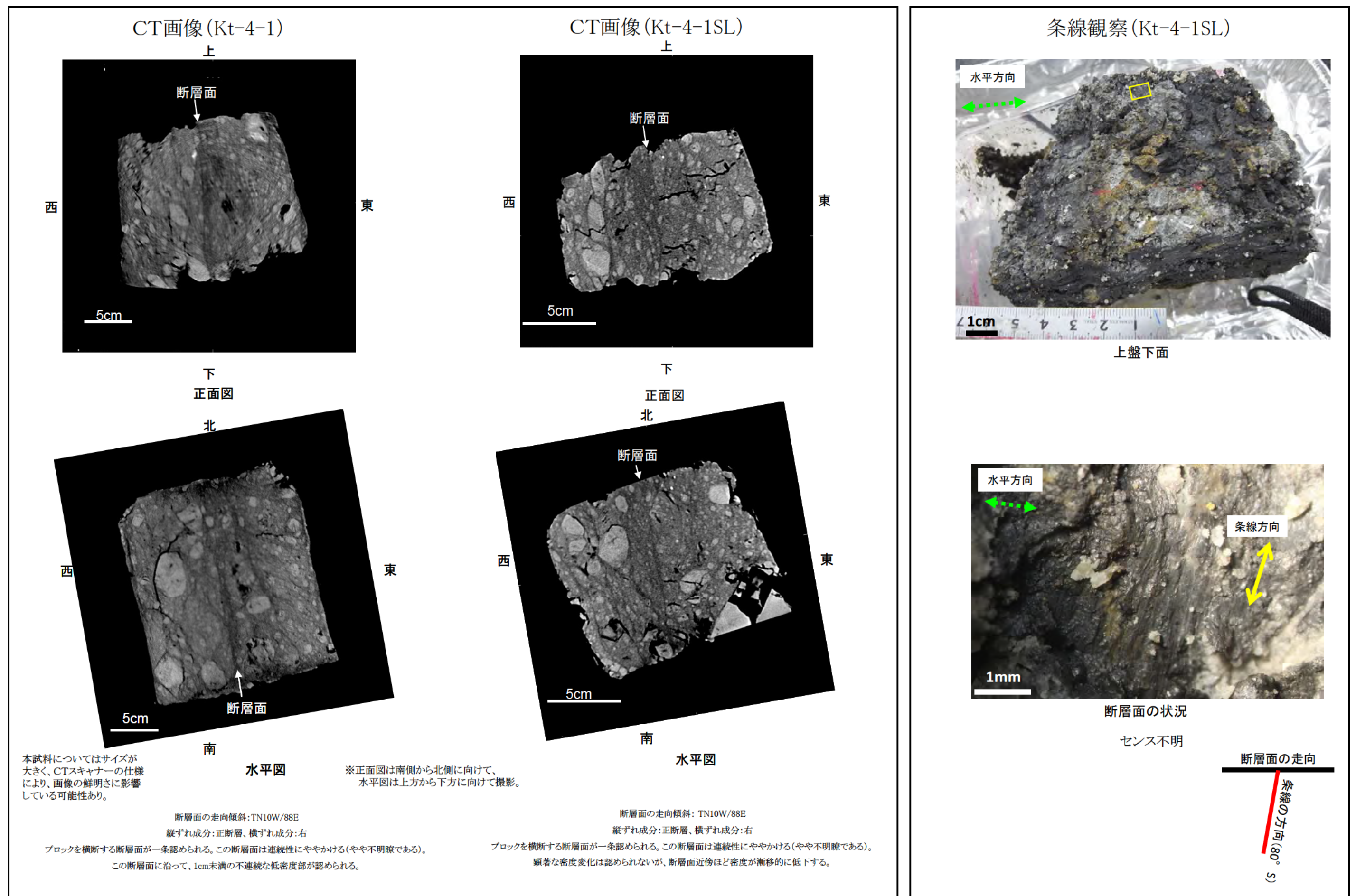
写真2 水平投影写真



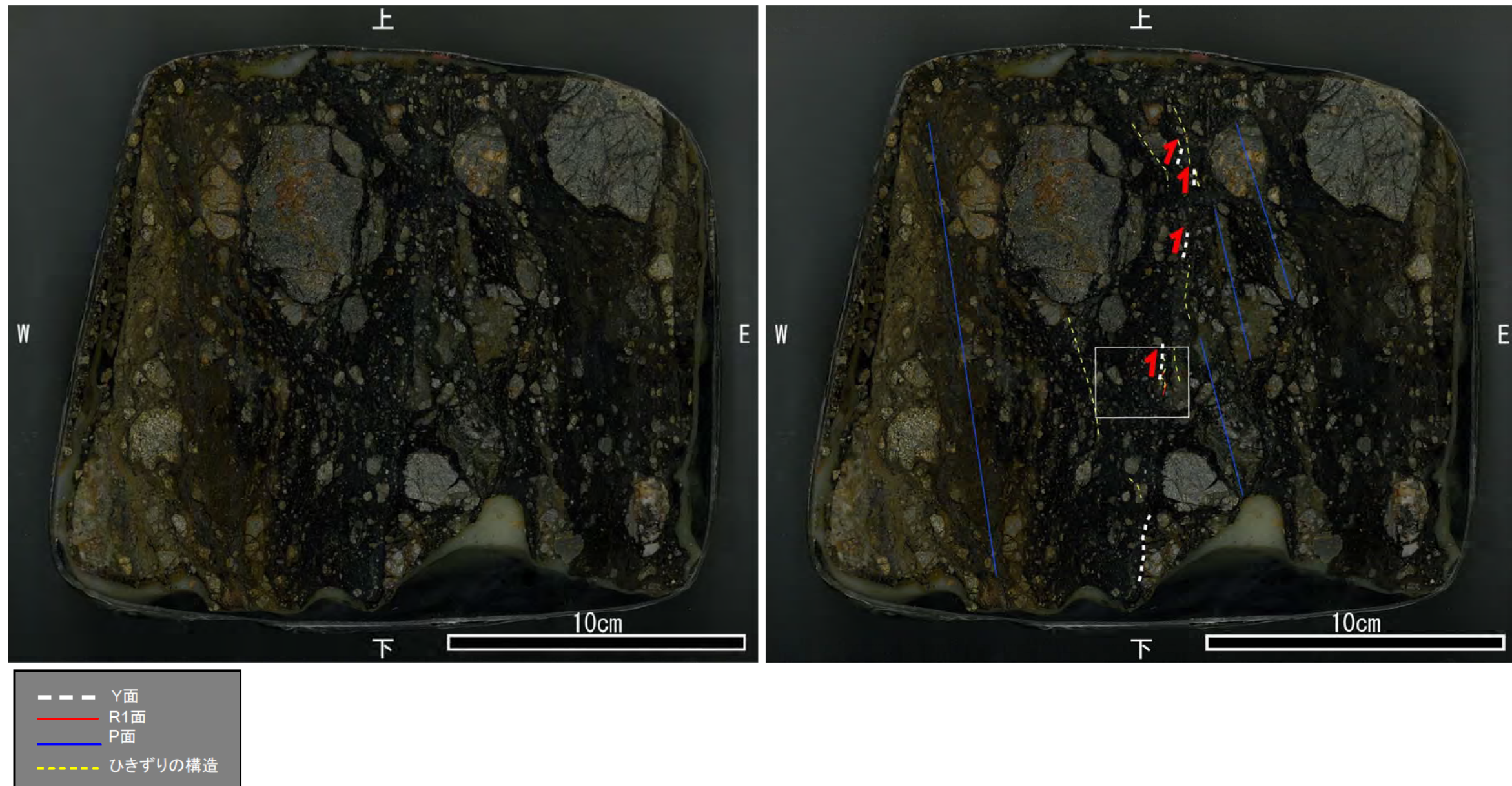
第 1.3.37 図 山中断層 山中峠東方付近の露頭写真 (Loc. Kt-4-1)



第1. 3. 38図 山中断層 山中峠東方付近の露頭スケッチ (Loc. Kt-4-1)

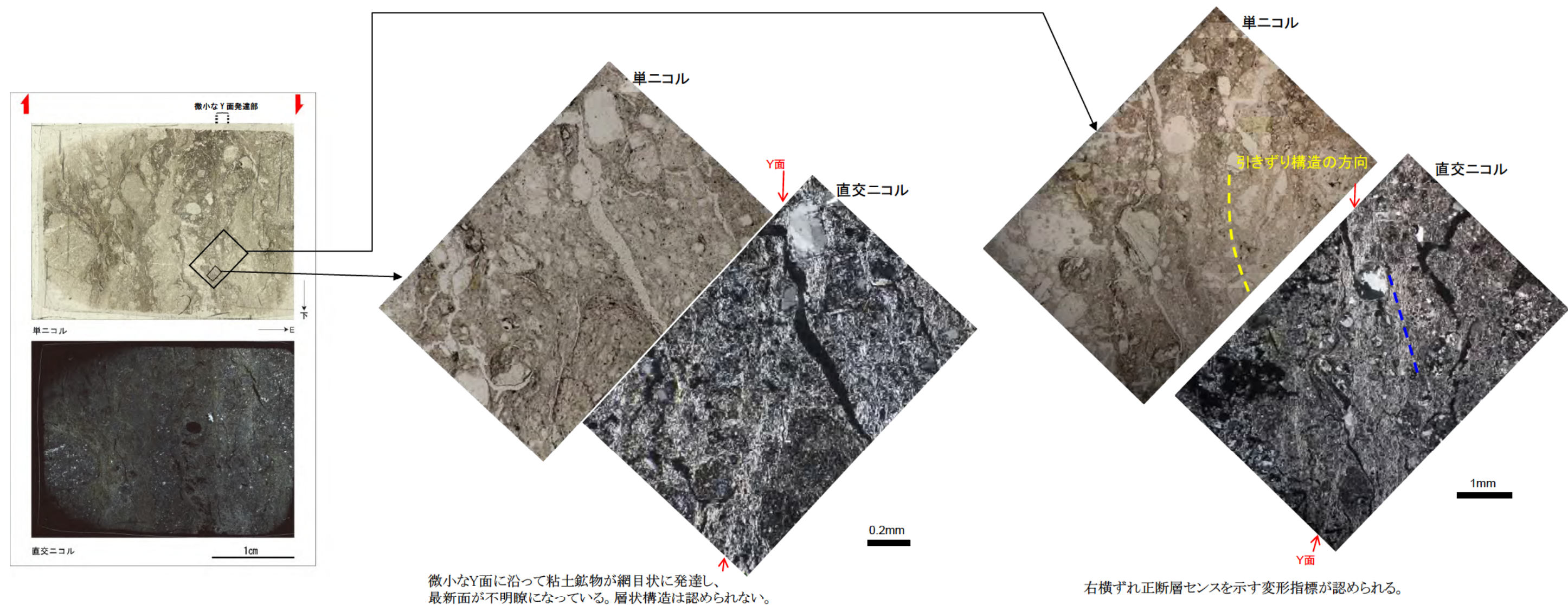


第 1. 3. 39 図 山中断層 山中峠東方付近の破碎部 ブロック試料の C T 画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. Kt-4-1)



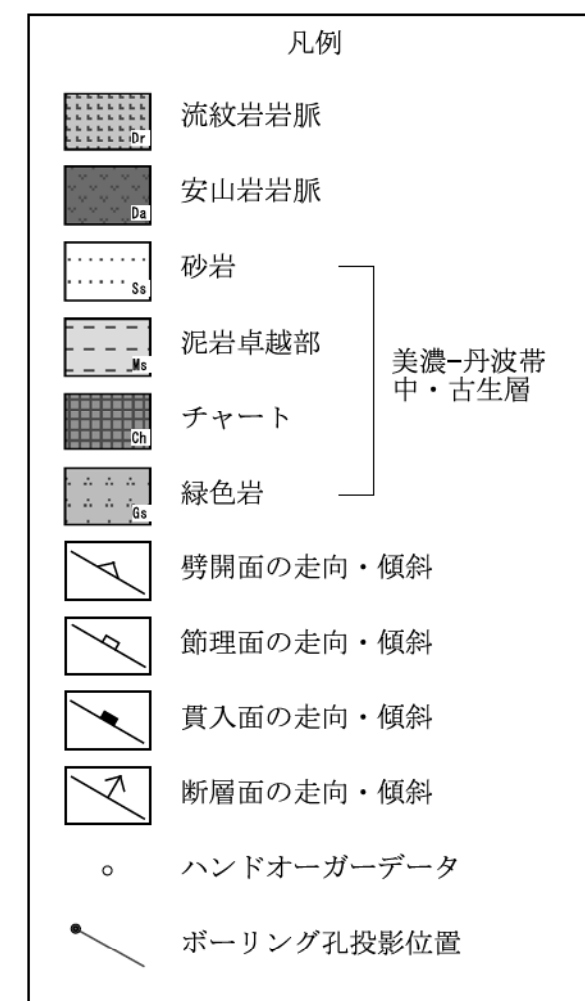
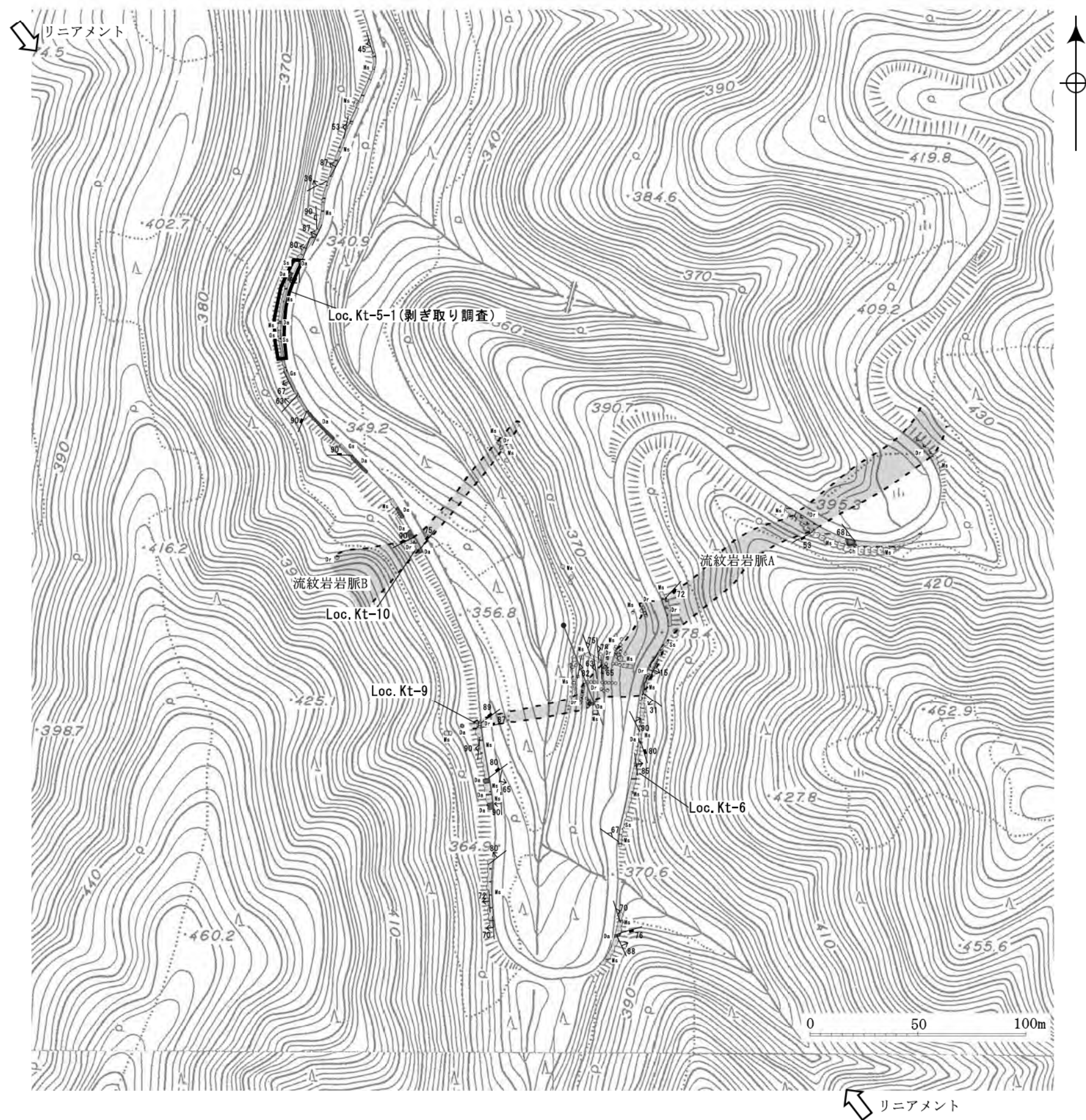
研磨片観察結果

- ・分帯: 研磨片中には断層角礫帯が認められる。
- ・研磨片を連続して横断するY面は認められない。微小なY面が研磨片中央部に発達する。
- ・研磨片中には右横ずれ正断層センスを示す変形指標が顕著に発達する。この変形指標は研磨片中央部ほど顕著であり、研磨片中央部の微小なY面が発達する部分に歪が集中している。

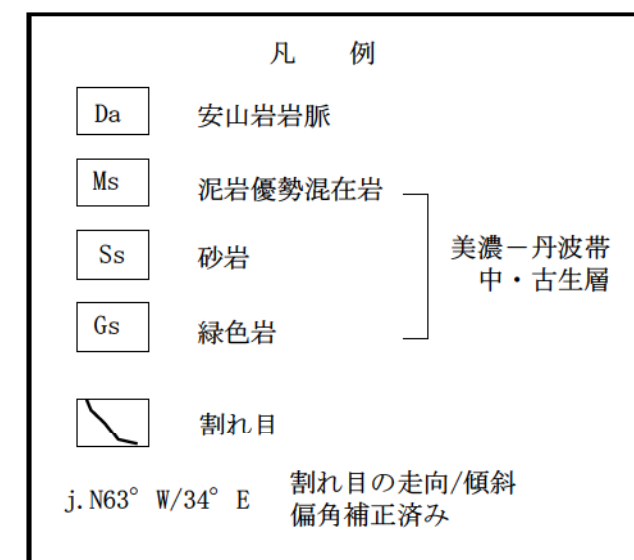
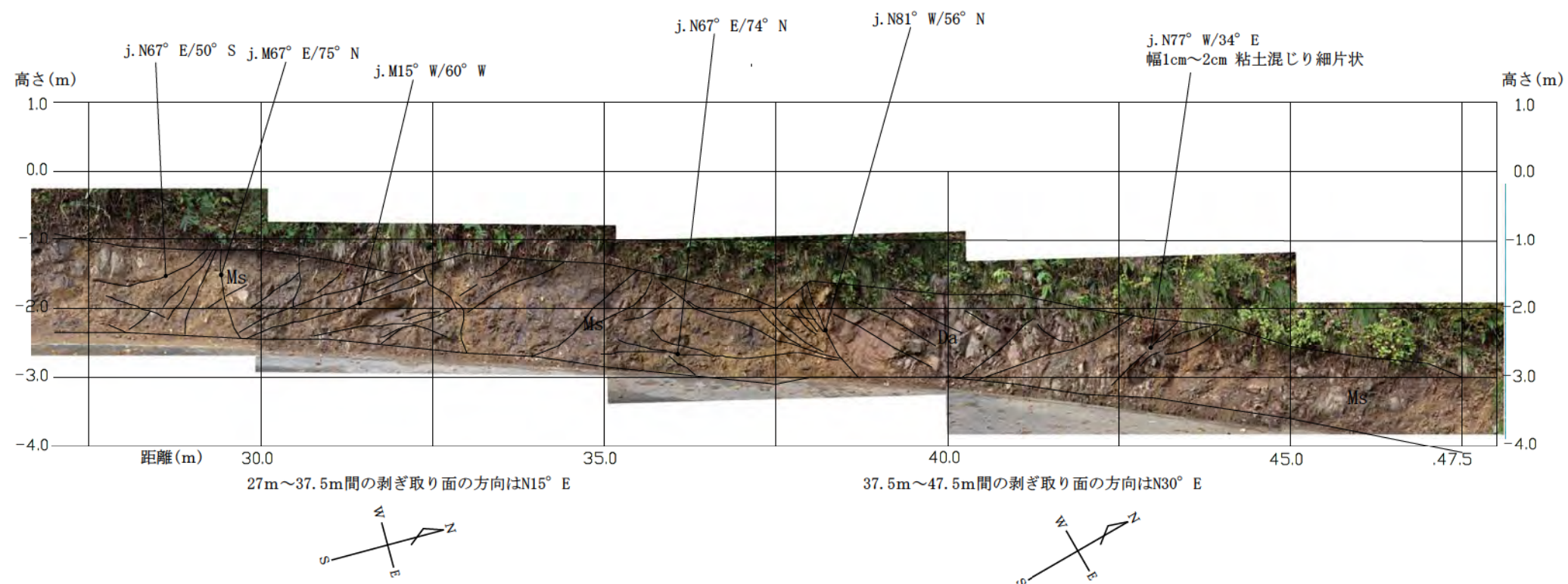
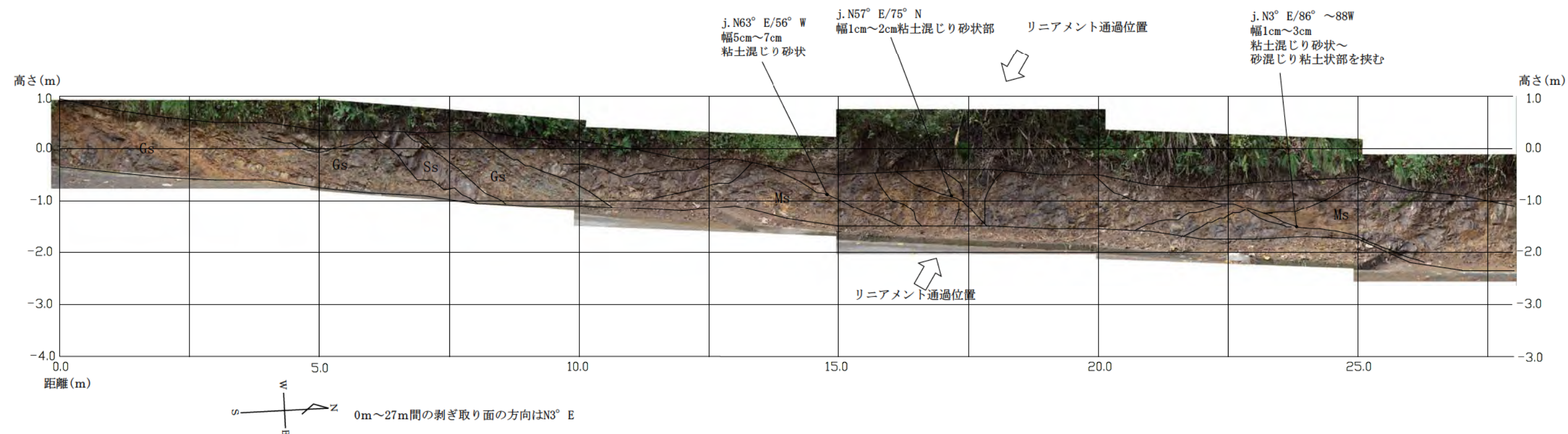


薄片観察結果

- ・薄片中には砂岩起源の断層角礫帯が認められる。
- ・薄片を横断するY面は認められない。薄片右側に微小なY面が多数発達したゾーンが認められる。周囲の歪は微小なY面発達部に集中しているように見える。いずれのY面も連続性・直線性に乏しく、Y面に沿って粘土鉱物が網目状に発達しているため不明瞭になっている。②中には右横ずれ正断層センスを示す変形指標が認められる。
- ・フラグメントは砂岩の原岩構造を残しているものが多く、石英や斜長石、カリ長石、緑泥石、イライト・セリサイトから構成される。多くの石英はポリクウォーツ化している。マトリックスは細粒碎屑物や細粒粘土鉱物からなる。

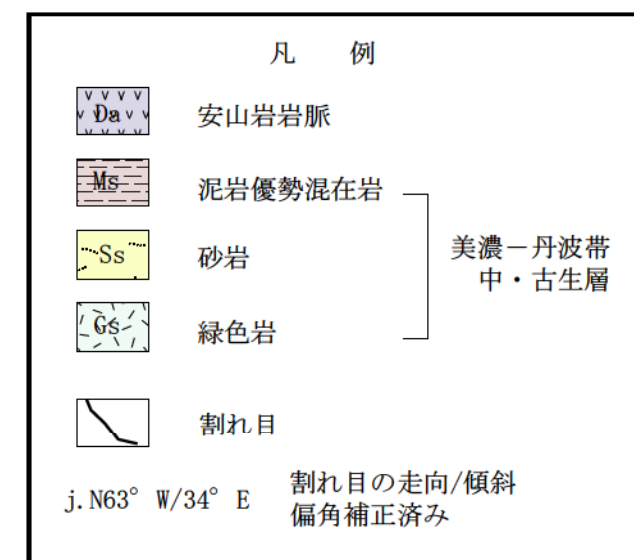
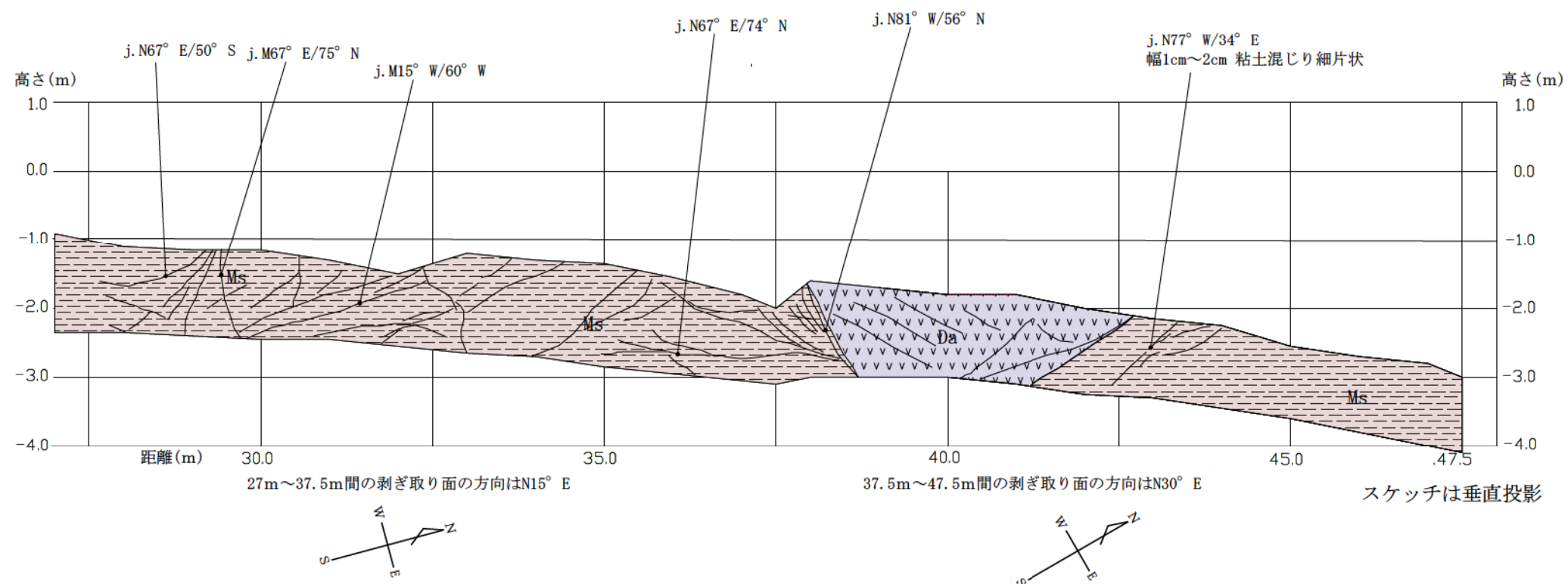
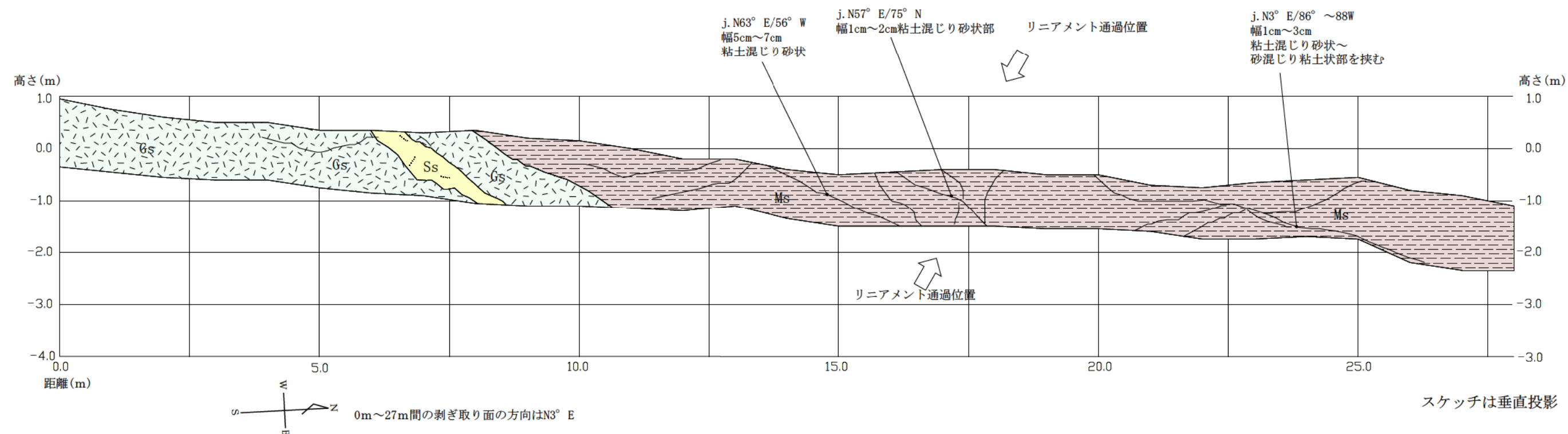


第1.3.42図 山中断層 山中峠東方付近ボーリング地点の拡大ルートマップ (Loc. Kt-5)
6-1-325



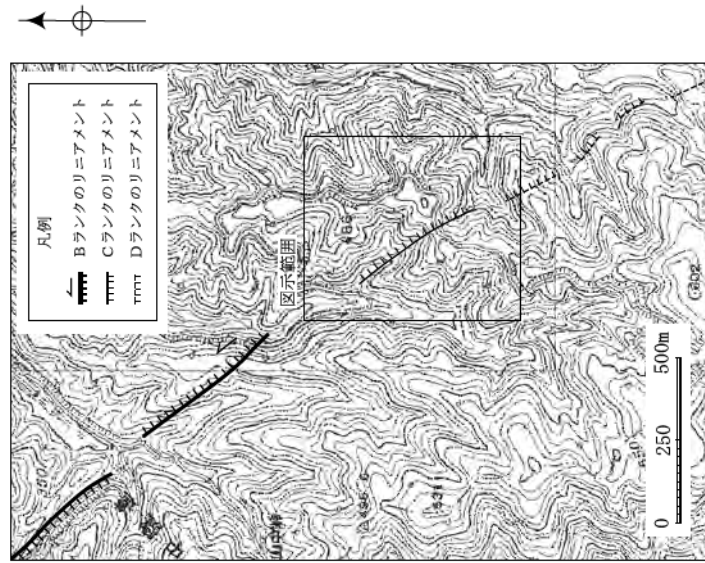
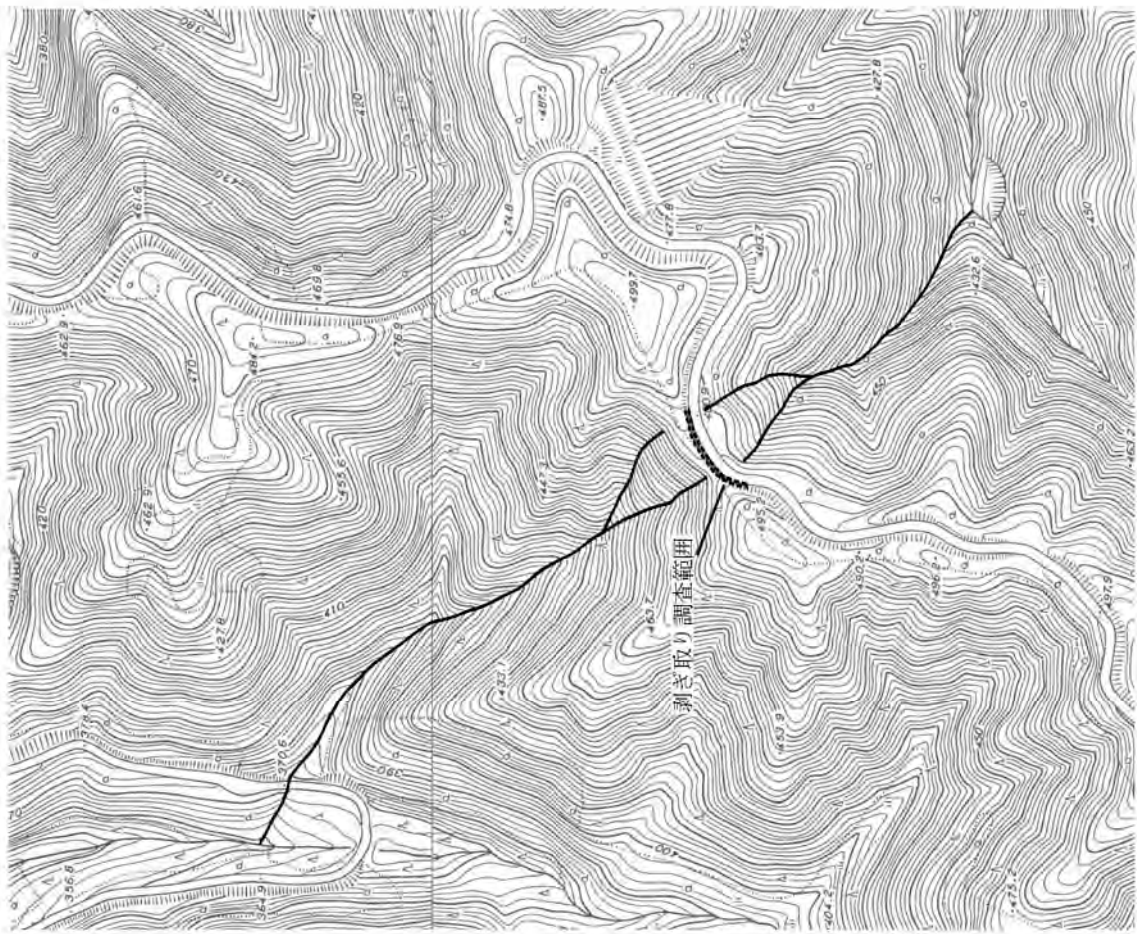
幅約50mにわたり連続的に露頭を観察した。
剥ぎ取り部には、美濃一丹波帯 中・古生層の堆積岩および安山岩岩脈が分布する。
リニアメント付近には、ENE-WSW方向の割れ目が見られるが、
リニアメントの方向(NW-SE)と調和的な断層は認められない。

第1. 3. 43図 山中断層 山中峠東方付近リニアメント直下の剥ぎ取り写真 (Loc. Kt-5-1)

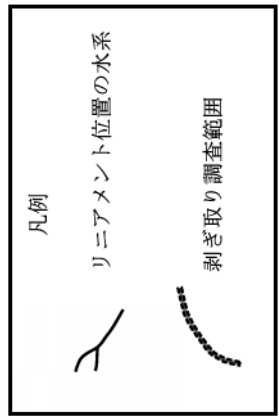


幅約50mにわたり連続的に露頭を観察した。
剥ぎ取り部には、美濃-丹波帯 中・古生層の堆積岩および安山岩岩脈が分布する。
リニアメント付近には、ENE-WSW方向の割れ目が見られるが、
リニアメントの方向(NW-SE)と調和的な断層は認められない。

第1. 3. 44図 山中断層 山中峠東方付近リニアメント直下の露頭スケッチ (Loc. Kt-5-1)



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平28情保 第16号）」



第1.3.45図 山中断層 山中峠南東方付近の剥ぎ取り調査位置図 (Loc. Kt-11)